



Management Center データベースの消去

以下のトピックでは、Management Center から検出データを消去する方法を示します。

- [Management Center データベースからのデータの消去 \(1 ページ\)](#)

Management Center データベースからのデータの消去

| スマート ライセンス | 従来のライセンス | サポートされるドメイン | アクセス (Access) |
|------------|----------|-------------|------------------------|
| 任意 (Any) | 任意 (Any) | グローバルだけ | Admin/Security Analyst |

データベース消去ページを使用すると、検出、アイデンティティ、接続、およびセキュリティインテリジェンスのデータ ファイルを Management Center データベースから消去できます。データベースを消去すると、該当するプロセスが再起動される点に注意してください。



注意 データベースを消去すると、Firepower Management Center から指定したデータが削除されます。削除されたデータは復元できません。

手順

ステップ 1 [システム (System)] > [ツール (Tools)] > [データの削除 (Data Purge)] を選択します。

ステップ 2 [ネットワーク検出 (Network Discovery)] で、次のいずれかまたはすべてを実行します。

- [ネットワーク検出イベント (Network Discovery Events)] チェックボックスをオンにして、データベースからすべてのネットワーク検出イベントを削除します。
- [ホスト (Hosts)] チェックボックスをオンにして、データベースからすべてのホストと侵害の兆候フラグを削除します。
- [ユーザ アクティビティ (User Activity)] チェックボックスをオンにして、データベースからすべてのユーザ アクティビティ イベントを削除します。

- [ユーザアイデンティティ (User Identities)] チェックボックスをオンにして、データベースからすべてのユーザ ログインとユーザ履歴データを削除します。

ステップ 3 [接続 (Connections)] で、次のいずれかまたはすべてを実行します。

- [接続イベント (Connection Events)] チェックボックスをオンにして、データベースからすべての接続データを削除します。
- [接続の概要イベント (Connection Summary Events)] チェックボックスをオンにして、データベースからすべての接続の概要データを削除します。
- [セキュリティ インテリジェンス イベント (Security Intelligence Events)] チェックボックスをオンにして、データベースからすべてのセキュリティ インテリジェンス データを削除します。

(注) [接続イベント (Connection Events)] チェックボックスをオンにしても、セキュリティ インテリジェンス イベントは削除されません。セキュリティ インテリジェンス データとの接続は、セキュリティ インテリジェンス イベント ビューアに引き続き表示されます。同様に、[セキュリティ インテリジェンス イベント (Security Intelligence Events)] チェックボックスをオンにしても、セキュリティ インテリジェンス データに関連する接続イベントは削除されません。

ステップ 4 [選択したイベントの消去 (Purge Selected Events)] をクリックします。項目が消去され、該当するプロセスが再起動されます。
